

第6学年社会科 学習指導案

指導者 藪田 哲朗

1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

2 本単元の目標

- (1) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解することができる。〔知識及び技能〕
- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことについて、主体的に追究し、解決しようとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知① 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について理解している。 技① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて調べる学習計画を立て、文化財や地図、年表などの資料で調べ、まとめている。	思① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え、表現している。 思② 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや、世の中の様子の変化を考え適切に表現している。	態① 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領解説社会編第6学年の内容（2）ケ「黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手がかりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めてきたことを理解すること」を受けて設定している。

(2) 児童観

本学級の児童は、一問一答形式の問いにはすぐに答えを導き出し、積極的に答えることができる。一方で、社会的事象を多角的に捉えることや、調べた事実から根拠を基にして自分の考えをもったり、児童同士での交流を通して、自分の考えを再構築したりすることに課題がある。

(3) 指導観

本単元では、最初に江戸時代と明治時代の様子を比べ、「20年ほどの間に、なぜ日本はこんなに大きく変わったのだろうか」という、単元を通した学習問題を立てる。それは、「社会的事象が社会全体の中でどのような形で影響を与えたか」という社会的意味を問うものであり、児童が「これは解決しなければならない」という思いに支えられた問題である。そのため、児童の気付きや疑問を生かした学習問題を設定したり、シンキングツールを使って一人一人の考えをしっかりとまとせたりすることで主体的・対話的な学びとなるように学習を進めていく。

5 単元の指導計画（8時間扱い）

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	1 これまでの学習を振り返り、江戸時代について概観する。 2 江戸時代と明治時代の日本橋の絵を比較し、変わった点を探す。 3 他の資料からも、江戸時代と明治時代を比較し、変わった点を探す。 4 本単元の学習問題を立てる。 20年ほどの間に、なぜ日本はこんなに大きく変わったのだろうか。 5 これまでの学習や生活経験から、予想を立てる。				○	・江戸時代についての授業の内容をスライドで確認する。 ・1860年代と1880年代の日本橋の様子を比較し、共通点ではなく相違点を発表させるようにする。 ・幕末の藩の地図と廃藩置県後の日本地図や、寺子屋と明治時代の小学校の様子を比較する。 思①：社会の様子の変化に着目して問いを見出している。 【発言・ノート】 ○ 態①：これまでの学習から、学習問題に対する予想を立てようとしている。【発言・ノート】
	2	1 年表から、関係のありそうな出来事を抜き出し、記述する。 2 学習計画を立てる。		○			・資料として年表を配付し、学習課題を調べるために必要な出来事を抜き出し、調べる人物や事象などをワークシートにまとめる。 技①：年表をもとにして、学習計画を立てている。【ワークシート】
2	3	1 本時の学習課題を立てる。 明治維新を進めた人々は、どのような思いをもっていたのでしょうか。 2 ペリーの上陸の絵や、ペリーの肖像画などから、黒船来航について確認する。 3 開国後の社会の様子について調べる。 4 明治新政府の成立について調べる。 5 学習課題についてまとめる。 黒船の来航によって外国の力の大きさを実感した人々は、新しい政府をつくって、強い国づくりを進めようという思いをもっていた。 6 本時の学習内容・活動を振り返る。 7 次時の学習内容・活動を確認する。	○				・資料を基に、大砲を積んだ巨大な蒸気船で現れ、強い態度で開国を求めてきたことを踏まえた上で、日本国内の反応を考えることができるようにする。 ・日米和親条約を結んで開国し、日米修好通商条約を結んで、外国との貿易が始まったことを理解できるようにする。 ・物価が急に上がって人々の不満が高まったことを理解できるようにする。 ・木戸孝允、大久保利通、西郷隆盛らが、新しい政府をつくる運動を始めたことを理解できるようにする。 知①：必要な情報を集め、我が国が開国したことや、新しい政府が誕生したことについて理解している。 【発言・ノート・タブレット】 ・各自振り返りをノートに記述するよう助言する。 ・年表を提示し、次時の学習内容を確認できるようにする。

4 本 時	目標：明治新政府の諸改革を相互に関連付けて、大久保利通らがどのような国づくりを目指していたかについて、根拠を基に表現することができる。 1 前時までの学習内容を確認する。 2 学習課題を立てる。 大久保利通はどのような国づくりを目指したのだろうか。 3 大久保利通が行った四つの改革「廃藩置県」「殖産興業」「地租改正」「徴兵令」について一つを選び、資料を使って調べる。 4 全体で四つの改革の内容を確認する。 5 四つの改革を関連づけ、大久保利通はどのような国づくりを目指したのかを個人で考える。 6 グループで考えをまとめる。 7 自分の考えを再構築する。 8 クラス全体で考えをまとめる。 大久保利通は廃藩置県や殖産興業、徴兵令や地租改正によって経済力や軍事力を強化し、外国に負けない強い国づくりを目指した。 9 本時の学習内容・活動を振り返る。 10 次時の学習内容・活動を確認する。	○			・日本が置かれている状況を捉え課題について意欲的に考えられるようにする。 ・改革の名前から内容を推測できるように、改革名を黒板に貼り付ける。 ・それぞれの政策による国の変化を考えるよう助言する。 ・自分の考えを可視化し、整理して考えられるように、クラゲチャートを使う。 ・一人一人の考えを発表できるように、各班の司会児童が進行できるようにする。 ・どの根拠から考えをもったのかを分かるように発表をできるようにする。 ・互いが使用した根拠の共通点を基にして、考えを一つにまとめるようにする。 ・話し合いで出た、友達やグループの考えを踏まえて、「5」の活動で記述した自分の考えを加筆、修正するよう助言する。 知・技①：明治新政府の諸改革を相互に関連付けて、大久保利通らがどのような国づくりを目指していたかについて、根拠を基に表現している。 【発言・ノート・タブレット】 ・各自振り返りをノートに記述するよう助言する。 ・年表を提示し、次時の学習内容を確認できるようにする。
5	1 本時の学習課題を立てる。 明治時代になって、人々の生活はどのように変わっていったのだろうか。 2 文明開化について確認する。 3 明治時代になって変わったものを調べる。				・文明開化により、西洋から多くのことが紹介されたり、取り入れられたりしたことをおさえる。 ・身分制度の他、多くの変化があったことを具体的にとらえさせ新しい世の中の特色を理解できるようにする。

		4 学習課題についてまとめる。 明治時代になって、西洋の新しい考え方や身分制度が取り入れられ、人々の生活が便利になる仕組みもできた。 5 本時の学習内容・活動を振り返る。 6 次時の学習内容・活動を確認する。	○			知①：必要な情報を集め、読み取り、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れたことを理解している。【発言・ノート】 - 各自振り返りをノートに記述するよう助言する。 - 年表を提示し、次時の学習内容を確認できるようにする。
	6	1 本時の学習課題を立てる。 政府の改革に不満をもつ人々は、どのような行動をとったのだろうか。 2 政府の改革に不満をもつ人々について調べる。 3 板垣退助と自由民権運動について調べる。 4 学習課題についてまとめる。 政府の改革に不満をもつ人々は武力による反乱を起こしたが、武力では新政府の改革を止められなかったことから、自由民権運動が起こった。 5 本時の学習内容・活動を振り返る。 6 次時の学習内容・活動を確認する。	○			- 扶持米がもらえなくなった武士が西郷隆盛を中心として西南戦争を起こしたが、鎮圧されたことを理解できるようにする。 - 掲載されている資料を読み取りながら、国会開設への国民の期待を理解できるようにする。 技①：必要な情報を集め、読み取り、自由民権運動が広がったことをまとめている。 【発言・ノート・タブレット】 - 各自振り返りをノートに記述するよう助言する。 - 年表を提示し、次時の学習内容を確認できるようにする。
	7	1 本時の学習課題を立てる。 2 国会開設に先立って板垣退助や大隈重信らが行ったことについて調べる。 3 大日本帝国憲法や、国会の特色について調べる。 4 学習課題についてまとめる。 伊藤博文はドイツの憲法を参考にして、天皇を中心とした憲法をつくった。 5 本時の学習内容・活動を振り返る。 6 次時の学習内容・活動を確認する。	○			- 自由党や立憲改進黨といった政党がつくられたことを理解できるようにする。 - 大日本帝国憲法は、天皇に主権があったことを理解できるようにする。 - 国会は、貴族院と衆議院からなり選挙権は一定の税金を納めた25才以上の男子のみに与えられたことを理解する。 知①：必要な情報を集め、読み取り国会の開設に備えて板垣退助や大隈重信が政党をつくったことや伊藤博文が憲法制定に重要な役割を果たしたことを理解している。 【発言・ノート】 - 各自振り返りをノートに記述するよう助言する。 - 年表を提示し、次時の学習内容を確認できるようにする。
3	8	1 これまでの学習を振り返り、明治維新で行われたことや、活躍した人々の業績について確認する。				なぜ日本が20年間の間に大きく変化したのか、その理由を考えられるようにする。

		2 本単元の学習問題に対する自分の 答えをまとめる。					・明治政府の取組により日本がどのような国になったのかについても考えるよう助言する。
		3 本時の学習内容・活動を振り返る			○	○	思②：日本の変化についてこれまで学習したことを基に文章でまとめ、表現している。【発言・ノート】 態①：これまでの学習から、学習問題に対する答えを導こうとしている。【ノート】 ・各自振り返りをノートに記述するよう助言する。